

小金井第一小学校における校舎建替え等基本計画【概要版】

1 背景・目的

令和3年3月に市が策定した「小金井市学校施設長寿命化計画（以下、「長寿命化計画」という。）」では、小金井第一小学校（以下、「第一小学校」という。）については、施設の老朽化の状況と児童の増加傾向を踏まえて、小金井第三小学校に次いで2番目に校舎の建替え等を進めていくこととしました。

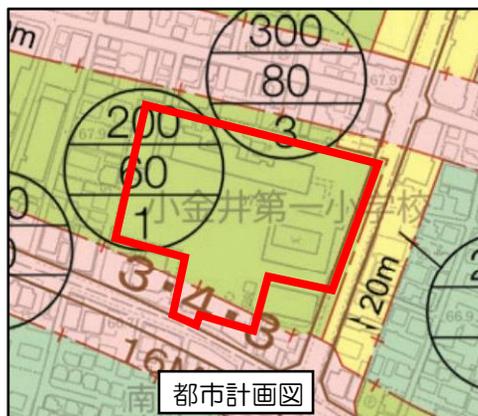
しかしながら、令和3年4月の法改正により公立小学校の学級編制標準が40人から35人に段階的に引き下げられることとなったことや、第一小学校の児童数が増加する見込みであることから、第一小学校では、今後、長寿命化計画策定時の想定以上に学級数が増加していく見込みとなりました。

そのため、市教育委員会は、第一小学校において学校施設の老朽化対策と学級数の急増への対応を適切に進めていくための校舎建替えについて、基本的な考え方を取りまとめることとしました。

2 施設の現状

(1) 敷地の概要

所在地	小金井市本町一丁目1番6号	
敷地面積	11,533㎡	
用途地域	第一種中高層住居専用地域	近隣商業地域
建ぺい率	60%	80%
容積率	200%	300%
防火指定	準防火地域	
高度地区	第一種高度地区	第三種高度地区
日影規制	3-2時間 測定面4m	5-3時間 測定面4m



(2) 既存校舎及び体育館の概要

○ 長寿命化計画における改修計画

第一小学校の既存校舎は、築年数や老朽化の状況からみて、全て建替えることが適当と判断しています。

体育館は、現在の建物をまだ長期活用できると判断しており、当面の間、大規模な施設更新は行いません。

	建築年	長寿命化計画
既存校舎	昭和35~48年	全て建替え
体育館	平成8年	長寿命化改修(将来)

(3) 既存校舎の構成諸室

令和4年度現在、普通教室は21室あります。多目的室や少人数教室などを普通教室に転用することで、普通教室を最大27室確保することができます。

普通教室	普通教室 21室
特別教室	理科室、音楽室、第二音楽室、家庭科室、図工室、図書室、教育相談室、特別支援教室、少人数教室2室、低学年図工室、各準備室
管理諸室	職員室、事務室、校長室、用務管理室、保健室、印刷室、放送室、給食室など
特別支援学級	学級室3室、プレイルーム、職員室
その他	学童使用室、PTA室

(4) 児童数・学級数の推計

学級数は今後増加し、令和9年度に最大28学級となる見込みです。

既存校舎で確保できる普通教室数は最大27室であることから、令和8年度末までに校舎規模を拡大する必要があります。

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
児童数	674	715	777	817	845	822	809	786	770	750	735
学級数	21	23	25	26	27	28	26	26	25	25	24

既存校舎で普通教室27室まで確保可能

令和9年度に普通教室が不足する恐れがある

3 施設整備方針

(1) 児童等の安全安心の確保

- 生命を守り抜く安全・安心な施設の整備
 - ・基本的な耐震性能、安全性能を備えた施設とします。
 - ・児童の安全管理と防犯機能を備えた施設とします。
 - ・防災拠点としての機能を備えた施設とします。

(2) 児童の学習環境・生活環境の充実

- 多様な学習・活動を支える施設の整備
 - ・1人1台ICT端末環境に対応した多様な学習、活動を展開できる教室スペースを確保します。
 - ・少人数や複数学級での学習や活動などの多様な学習形態に対応できる施設とします。
- 多様な教育的ニーズのある児童が安全かつ円滑に学校生活を送れる施設の整備
 - ・インクルーシブ教育への対応として施設のバリアフリー化を推進します。
- 健やかで衛生的な施設の整備
 - ・教室は快適な空間となるよう環境を整え、衛生面に配慮した給食室やトイレを整備します。
 - ・児童等の充実した屋外活動を支える校庭等を整備します。

(3) 変化への柔軟な対応

- 児童数・学級数の変化に柔軟に対応できる施設の整備
 - ・少人数教室等は普通教室に転用しやすい設えとし、学級数の増加に柔軟に対応できる施設とします。
 - ・将来児童数が減少した場合、施設の一部を地域利用等に供することを想定し、できるだけ可変性のある施設とします。

(4) 施設の有効活用

- 児童の放課後の居場所としての施設の整備
 - ・児童が放課後に活動する場として、学童保育所の活動を支えるスペースを確保します。
- 地域との連携・協働の場としての施設の整備
 - ・学校運営協議会やPTAなどの活動を支えるスペースを確保します。
 - ・地域住民による施設の一部利用を想定した施設構成とします。
 - ・障がいの有無、年齢、性別等に関わらず多様な人々が利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインを採用します。

(5) 環境にやさしい施設づくり

- 環境への負荷の低減に配慮した施設の整備
 - ・敷地内の緑化を積極的に行い、みどりに親しむことができるようにします。
 - ・建物の断熱化やLED照明の採用等による省エネルギー化を図ります。
 - ・太陽光パネルの設置等による再生可能エネルギーの導入を図ります。
- 児童や地域の環境教育に資する施設の整備
 - ・省エネルギーや再生可能エネルギーの取り組み、効果の可視化を図ります。

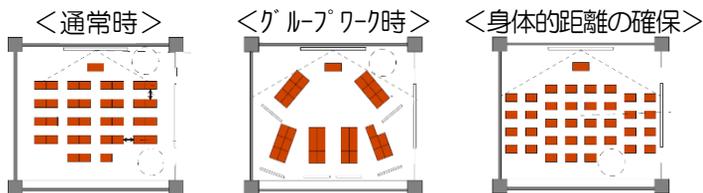
4 施設整備計画

(1) 新校舎の想定規模

- ア 新校舎の延べ床面積：約8,000㎡ イ 新校舎の階数：地上 4階
ウ 普通教室の大きさ：1人1台端末環境に対応した多様な学習・活動が展開しやすい十分な大きさを確保するため、1教室あたりの面積を72㎡(9m×8m)とします。

普通教室のレイアウトのイメージ

- ・新JIS規格の机(65cm×45cm)
- ・車いすの出入り、回転(直径1.5m)
- ・身体的距離の確保(感染症対策時)



エ 新校舎の構成諸室

普通教室	普通教室 25室 (少人数教室等を普通教室に転用することで最大30室確保可能)
特別教室	理科室、音楽室、第二音楽室、家庭科室、図工室、図書室、多目的室、少人数教室、外国語教室、教育相談室、特別支援教室
管理諸室	職員室、事務室、校長室、用務管理室、保健室、印刷室、放送室、給食室など
特別支援学級	学級室3室、プレイルーム、職員室
その他	学童使用室、地域連携室

4 施設整備計画（つづき）

(2) 新校舎の配置計画案の比較検討

		①校庭北側配置	②校庭南側配置	③校庭東側配置	
配置計画図					
施設計画	普通教室の向き	◎ 南向き・東向き	△ 北向き・南向き・東向き	△ 西向き	
	校庭	大きさ	△ 約3,500㎡ 120mトラックが入る。	◎ 約3,900㎡ 150mトラックが入る。	△ 約3,300㎡ 120mトラックが入る。
		かたち	△ 不整形	◎ 整形	◎ 整形
		環境	◎ 日当たりが良い。	△ 冬期に一定時間日影が生じる。	△ 午前中に一定時間日影が生じる。
近隣環境への影響	△ 北側・西側敷地に日影が生じる。	△ 西側敷地に日影が生じる。	△ 北側敷地に日影が生じる。		
(児童への影響)	工事計画	工事手順	△ (1)仮設校舎建設 11ヶ月 (2)既存校舎解体 9ヶ月 体育館改修 (3)新校舎建設 19ヶ月 (4)仮設校舎解体 3ヶ月 (5)校庭・外構整備 3ヶ月	◎ (1)新校舎建設 19ヶ月 (2)既存校舎解体 7ヶ月 体育館改修 (3)校庭・外構整備 3ヶ月	△ (1)新校舎南棟建設 14ヶ月 (2)既存校舎東側解体 6ヶ月 (3)新校舎北棟建設 14ヶ月 (4)既存校舎西側解体 6ヶ月 (5)校庭・外構整備 3ヶ月
		工事期間(校庭使用制限期間)	× 47ヶ月	◎ 29ヶ月	× 44ヶ月
		工事期間中の学校運営	△ 仮設校舎での学校運営 29ヶ月	◎ 仮設校舎での学校運営なし 既存校舎で学校運営継続	△ 仮設校舎での学校運営なし 校舎の動線が複雑になる。
		引越し	△ 2回	◎ 1回	△ 2回
		概算工事費	△ 工事費が最も高くなる。	◎ 工事費が最も低くなる。	△ ②案より工事費が高くなる。

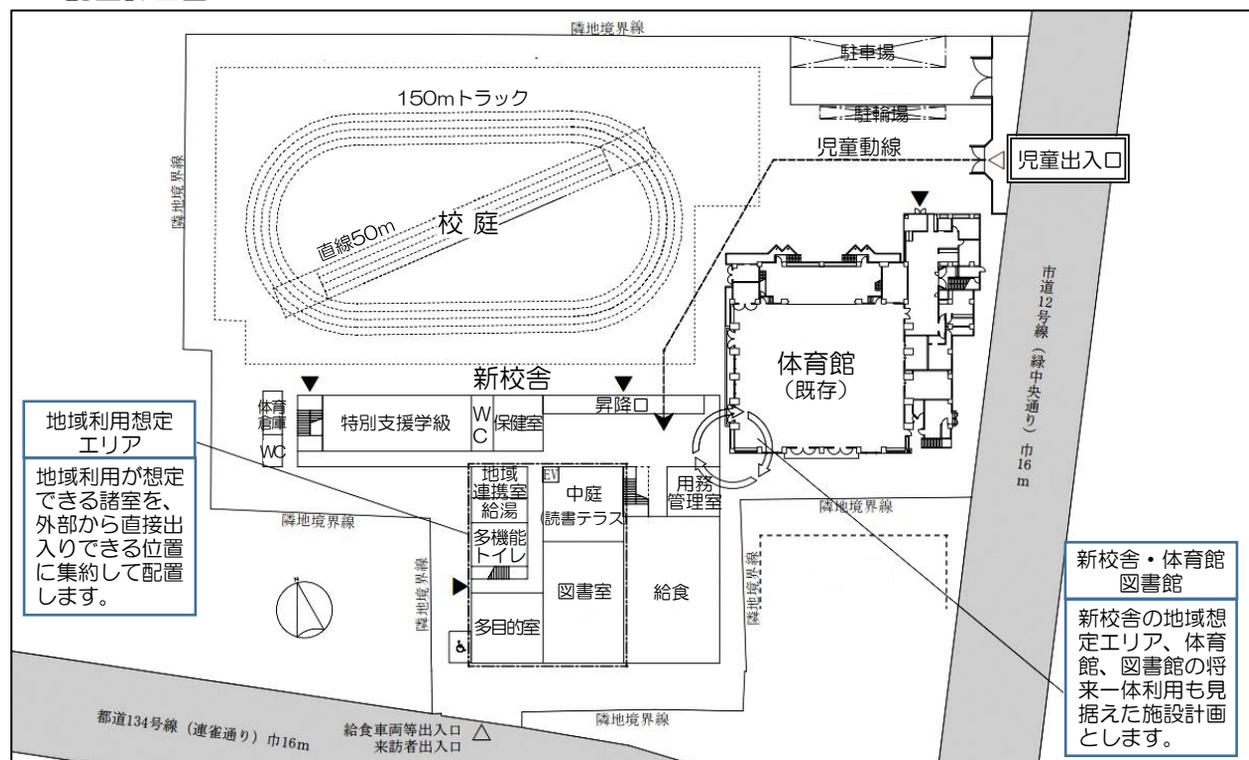
【②校庭南側配置】を第1候補とします。

- ・工期が最も短く、新校舎建設中も既存校舎で学校運営を継続でき、引越しが1回で済むので、児童の負担が最小限となる。
- ・校庭を最も大きく、かつ、整形とすることができる。
- ・工事費を最も抑えることができる。

(3) 新校舎の配置計画・平面計画

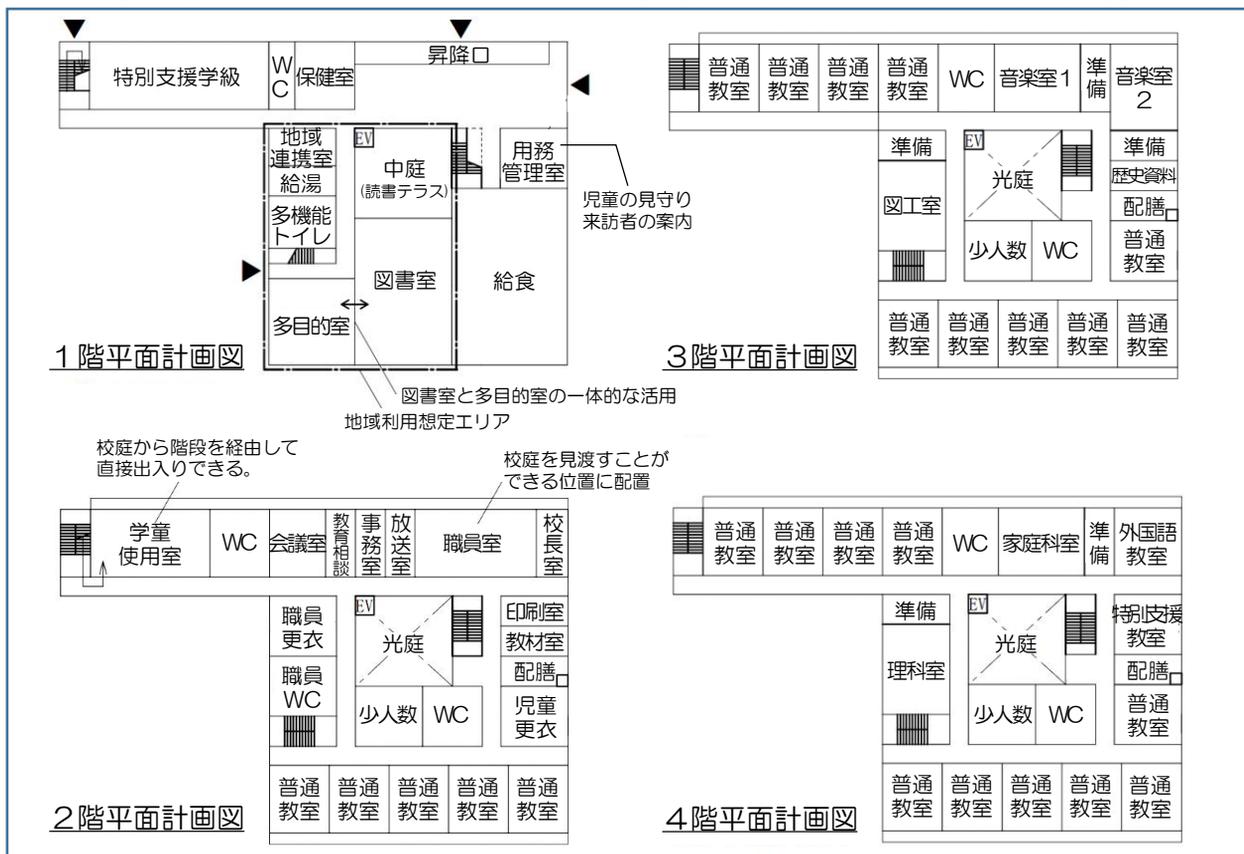
ア 配置計画図

※図は現時点での計画です。今後の検討に伴い変更となる場合があります。



イ 平面計画図

※図は現時点での計画です。今後の検討に伴い変更となる場合があります。

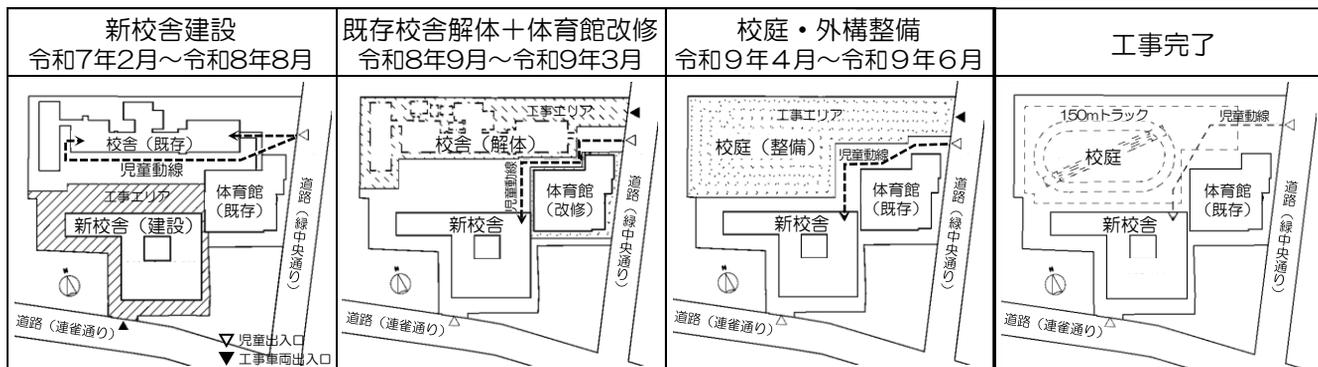


(4) 整備スケジュールと工事手順

新校舎を令和8年度末までに建設する必要があることから、長寿命化計画の建替え予定年度より早期に新校舎建設に着手していくこととします。

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度																	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
設計 工事	基本計画			基本設計・実施設計																				
学校 運営	既存校舎使用																							

年度	令和7年度			令和8年度			令和9年度																	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
設計 工事	新校舎建設						既存校舎解体			校庭整備														
学校 運営	既存校舎使用									新校舎使用														



※整備スケジュール及び工事手順は現時点での計画です。今後の検討に伴い変更となる場合があります。

○小金井第一小学校における校舎建替え等基本計画に関するご意見・ご質問がございましたら、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 小金井市教育委員会学校教育部庶務課施設係

電話：042-387-9871 (直通) メール：k010102@koganei-shi.jp